



小中学生の成績向上について



はなし こういち
葉梨 公一
議員

質問 村内小中学校の更なる成績向上に向けた教育方針は、

答弁（教育長） 村内小中学校の学力向上に向けての教育方針は、次の四点を考えている。

一つ目は、学力向上を視点においた校内研修や研究の充実で、教職員の資質向上に向けた、県の学力推進事業の活用を継続し、児童・生徒の学びを深める取り組み、若い教職員へ授業の基礎的な技能と心構えの研修を実施する。

二つ目は、教育環境の整備による人的・物的支援の充実で、人的支援については、村

独自に少人数指導教員、相談センター職員を配置し、個別指導により実態に応じた学習支援を充実する。

物的支援としては、ICT支援員を活用し、全学級で電子黒板等を活用し、より理解が深まる授業を実施する。

三つ目は、家庭との連携の充実で、学習内容の定着や、主体的な学習態度を育成するためには家庭学習も大切であり、家庭学習の充実、生涯にわたって学び続ける学習習慣の確立のため、習慣化を図ることが重要と考える。

具体的には、保護者、児童・生徒との定期的な教育相談や、「家庭学習カード」、「学習の手引き」を活用し、授業と家庭学習のつながりを図る。

四つ目は、就学前教育の充実で、保育所、幼稚園、小学校、中学校の連携推進の会議

等を実施し、系統的な指導体制の確立と情報交換を密にし、相互の共通理解を図り、個々の児童・生徒に応じた適切な支援を行う。

教育委員会では、引き続き児童・生徒の社会力を育てながら学力向上に向けた取り組みを着実に推進していきたい。



次年度以降の予算編成について

質問 ここ数年の予算編成を見ると、村債（借入金）と税収の割合が反比例、その差が拡大の傾向にある。

健全な財政運営を願うが、今後の財政計画の基本方針は、

答弁（総務部長） 本村は、

財政の健全性を保ち、持続的な財政運営のため、「美浦村財政改革計画」を本年1月に策定した。この中で、財政改革の基本方針に基づき、歳入の確保、歳出の縮減を図り、選択と集中、優先順位の明確化により、限りある財源を有効に活用し事業実施計画の実行に取り組むこととしている。

教育施設、公共下水道、子育て支援施設等、必要なインフラ整備を計画的に進め、将来に不安のない美浦村を目指し、健全な財政運営に努める。

答弁（村長） 本村の現状は、人口が減少し、税収も減少している。企業誘致やこれ以上人口を減らさない対策をとっていかなければならない。

公共施設の耐震工事も終わり、インフラの投資も、今年物産館、交流拠点が大きな投資になるが、今後は教育、福祉に向けられる部分があると思う。